

[全体の進行と助言]

第2次選考試験にどう向き合ったらよいか

講座助言者 山口 正(大学教員)

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~tadasi/>

E-mail: tadasi@msh.biglobe.ne.jp

< 全体の進行 >

はじめに 今回の講座目的と大切にしたい視点

今年度はこれまでに：計8回の講座開催(3月下旬から7月上旬) 1454人参加

今回の講座目的

目的1：愛知県で実施されている第2次試験内容=その選考方法と選考基準の概要を理解し、
小論文と集団討議に向き合う方法を体験をとおして学び合います。

目的2：上記の理解と体験をとおして、どんな教師になりたいのか、自らの教師像を豊かにし
ます。また、受験者どうし励まし合い、受験に向き合う気持ちを高めます。

この講座で大切にしたい視点

講座参加者は、すてきな教師をめざす、未来の教師、将来の同僚であるという視点に立って、
ともに合格をめざし合います。

【愛知県】 8月23日(月) クレペリン検査 教科専門 小論文 実技試験
24日(火) 口述試験(集団討議+個人面接)

【受験区分】 小学校 ・ 中学校 ・ 高校 ・ 特別支援 ・ 養護教諭 ・ 栄養教諭

【講座内容と進行】

午後0:30~	受付開始	必要事項の記入 資料などの受け取り
1:30~1:50	<u>20分</u>	開会 全体説明 第2次選考試験にどう向き合ったらよいか
1:50~3:00	<u>70分</u>	講座1 小論文 小論文執筆+交流・助言
3:00~3:15	15分	休憩と集団討議のグループに移動
3:15~4:40	<u>85分</u>	講座2 集団討議 前半グループ 集団討議+助言 後半グループ 集団討議+助言
4:40~4:50	<u>10分</u>	全体会 まとめ 閉会

講座はすべてグループごとを実施します。グループ分けは別途指示します。

【具体的な講座内容】

講座1	小論文	70分			
1:50~2:40	50分	体験・小論文執筆	}	各グループを小人数に分けて実施	
2:40~3:00	20分	交流と助言			
	15分	休憩と集団討議のグループに移動			
講座2	集団討議	85分		各グループをA・Bに分けて実施	
3:15~3:35	20分	体験・集団討議	}	前半：グループA (Bは観察)	
3:35~3:45	10分	1人ずつ まとめ発言 1分以内			
3:45~3:55	10分	助言			
	5分	休憩	}	後半：グループB (Aは観察)	
4:00~4:20	20分	体験・集団討議			
4:20~4:30	10分	1人ずつ まとめ発言 1分以内			
4:30~4:40	10分	助言			
全体会	10分				
4:40~4:50	10分	講座のまとめ 感想・決意			

< 助 言 >

選考基準のポイントと対応について

1. 今年度実施・第1次選考試験の結果について

別紙【資料】	2011年度採用	愛知県・名古屋市の教員採用選考試験(1次選考)の結果状況
採用予定数	1650人	
志願者数	9858人	そのうち、1次試験の欠席者977人
1次受験者数	8881人	そのなかに1次免除870人含む
1次合格者数	3840人	1次合格率(合格/受験)43.2% 採用予定数の2.3倍

【県への要望】 実行委員会を構成する団体から

要望1 採用予定数を超える大幅な正規採用増(2次合格)を!

採用不足の実態(今年春の採用不足数=臨時の期限付教員数)

小学校742人 中学校545人 高校318人 特別支援238人 計1843人(内養教112)

要望2 補欠者の全員繰り上げ採用を!

要望3 選考試験の公正な運用と県民に開かれた採用選考を!

2. 教員採用選考試験で愛知県が求める「教師像」について

選考基準の基本

【愛知県】 < 県教委・HP > 愛知県が求める教員像=選考の指針

- 1 豊かな専門的知識と技能を備えた人物であること
- 2 児童・生徒に愛情を持ち、教育に情熱と使命感を持つ人物であること
- 3 広い教養を持ち、円満で調和のとれた人物であること
- 4 実行力に富み、活力・体力のある人物であること
- 5 明るく、心身ともに健康な人物であること
- 6 穏健、中正な良識のある人物であること

3. 採用試験の問いかけにみる四つの「教師像」について この間の試験動向から
 前提：自己アピール …… 教職へのこだわり（職業選択理由）と個性ある人物（教師）像
- 問い1：理想の、自分が描く「教師像」「教育像」「学校像」 …… 常に問われる傾向
- 問い2：具体的な教育事例に対処できる「教師像」 …… さらなる強調傾向
- 問い3：「教育改革」動向に対処できる「教師像」 …… さらなる強調傾向
- 問い4：人間関係・コミュニケーション能力、対応能力のある「教師像」 …… 重視される傾向

4. 愛知県の選考方法の実際 第2次試験の選考方法・基準について

【1】愛知県の選考方法・基準

[愛知県・第2次基準]	教科専門 + 実技試験の成績の評定	(5段階A～E)
全体	小論文の評定	(5段階A～E)
	口述試験（個人面接＋集団討議）の評定	(5段階A～E)
	クレペリン検査の総合評価	(5段階A～E)
	上記の評定と受験願書の記載事項等を総合して選考	
	今年度から、健康検査の判定なし（選考対象外に）	
	実技試験の評価基準は別途あり	
	食格＝概ね採用予定者数、補欠＝採用辞退見込者数	
	不合格＝その他	

【2】小論文の選考基準

60分 900字以内 縦書き

次に示す観点に基づき、5段階で評価する。

教育に対する見識を持ち、現実に対する認識は適切であるか。

教育に対する意欲は十分であるか。

教師として現実に立脚した展望を持っているか。

出題の意図を的確にとらえ、論旨が一貫しているか。

文章表記は適切であるか。

総合評定

A（特に優秀） B（優秀） C（普通） D（やや劣る） E（劣る）

これまでの傾向

資料読み取り

資料の種類

隔年ごとの問題種類の変更

グラフ資料

文章資料

グラフ資料

文章資料

[採用年度]

平成16年度：グラフ資料

我が国の子育てや教育の問題点

平成17年度：文章資料

見稔幸著『親子ストレス』からの抜粋

平成18年度：グラフ資料

中高生への調査「学校に行く気がしない」「何でもないのにイライラする」

平成19年度：文章資料

大村はま著『教えるということ』からの抜粋

平成20年度：グラフ資料

全国の「いじめ」状況調査

平成21年度：文章問題

別紙参照

小林正幸著『学級再生』からの抜粋

平成22年度：グラフ資料

別紙参照

小中学校保護者アンケート調査「学校にどのような教育や指導を期待しますか」

平成23年度（今年度実施）：文書問題 ？

【3】集団討議の選考基準

受験者8人以内 面接委員3人 50分間（討議30分＋その他、個別質問）

評価の観点

教員としての適格性を、コミュニケーション能力、教育への情熱や使命感、児童生徒への愛情や興味・関心を主な観点として評価する。

評定の基準（各面接委員の個別評定）

A 適格性が高い B 普通 C 適格性が低い

昨年の討議テーマ 3つから1つ選択して指示

昨年度テーマ

- 1 仲よしグループ内のいじめへの対処
- 2 清掃指導への対処
- 3 人間関係を苦手とする子どもへの対処

一昨年度テーマ

- 1 保護者からのいじめ相談への対処
- 2 身だしなみ指導への対処
- 3 授業中（退出）の子どもへの対処

【4】個人面接の選考基準

面接委員3人 20分間

評価の観点

受験者の積極性、表現力、責任感、協調性、適応性、社会性、安定性等を主な観点として、広い視野から人物評価を行う。併せて部活動の実績、特性・特技、社会的体験の有無等願書記載事項の確認も行う。

評定方法

10・9点（特に優秀） 8・7点（優秀） 6・5点（普通）
4・3点（やや劣る） 2・1点（不適格）

総合評定 面接委員全員の合計評価

A（特に優秀）27点以上 B（優秀）21～26点
C（普通）16～20点
D（やや劣る）12～15点 E（劣る）11点以下

AとEは、所見欄にその理由を具体的に記入

* * *

【採用結果の相談窓口と詳細な開示方法について】

選考試験結果に関する相談窓口を開設しています。下記連絡先まで。

愛知県と名古屋市では、簡易開示以外に、個人情報の開示請求書を提出すれば、選考結果（合格・不合格とも）の詳細な結果情報を入手することができます。不利益は生じません。

開示の方法は下記のホームページに掲載しています。（開示請求書の雛形も提供）

講座助言者 山口 正（大学教員）

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~tadasi/> 本採用講座コーナーへ

[連絡先] tadasi@msh.biglobe.ne.jp

愛知県の講座を始めます
【講座 1】 愛知県：小論文

課題説明

体験

【講座 2】 愛知県：集団討議

課題説明

体験